

報告書抄録

ふりがな	いなりやま・ごうどいせきだいが・ろく・じゅういちちてん はつくつちようさほうこくしよ							
書名	稲荷山・郷戸遺跡第5・6・10・11地点 発掘調査報告書							
副書名								
シリーズ名	朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	第53集							
編著者名	照林敏郎・清水理史・小林陽子・福泉 藍							
編集機関	朝霞市教育委員会文化財課							
所在地	〒351-0007 埼玉県朝霞市岡2丁目7番22号(朝霞市博物館) TEL048-463-2927							
発行年月日	西暦2021年(令和3年)3月29日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
稲荷山・郷戸遺跡 第5・6地点	埼玉県朝霞市根岸台8丁目808-32, 808-33	11027	008-060	35度 47分 57秒	139度 36分 42秒	平成10年3月4日 ～4月18日	929.00㎡	記録保存調査
稲荷山・郷戸遺跡 第10地点	埼玉県朝霞市根岸台8丁目779-1, 1353	11027	008-060	35度 30分 01秒	139度 36分 32秒	平成29年8月3日 ～9月27日	1129.00㎡	記録保存調査
稲荷山・郷戸遺跡 第11地点	埼玉県朝霞市根岸台8丁目804-2, 805-2	11027	008-060	35度 48分 02秒	139度 36分 40秒	平成29年12月7日 ～平成30年4月11日	1315.53㎡	記録保存調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
稲荷山・郷戸遺跡 第5・6地点	集落跡	旧石器時代	石器集中1ヶ所		打面調整剥片、 2次調整博年等		平安時代の掘立柱建物が 1棟確認される。 2×4間の側柱建物である ことから注目される。	
		縄文時代	土坑11基、ピット173基		縄文土器			
		平安時代	掘立柱建物跡1棟、土坑2基、ピット16基		なし			
		時期不明	溝2条、土坑48基、ピット99基		なし			
稲荷山・郷戸遺跡 第10地点	集落跡	縄文時代	土坑5基、ピット1基		使用痕のある剥片、 縄文土器		平安時代の掘立柱建物が 4棟確認される。 一部は直線状に設けられた 区画溝と平行に建てられて いることから官衙的 様相を窺わせる。	
		平安時代	掘立柱建物跡1棟、溝1条、土坑4 基、ピット48基		土師器、須恵器、 ロクロ土師器			
		時期不明	掘立柱建物跡1棟、土坑45基、ピッ ト1378基		なし			
稲荷山・郷戸遺跡 第11地点	集落跡	旧石器時代	石器集中2ヶ所		ナイフ形石器、 打面再生剥片等		旧石器時代の石器集中が 2地点で確認される。弥 生時代末～古墳時代前期 にかけての住居跡が17軒 確認される。 平安時代の溝が谷と谷を 結ぶような形で縦走して いることが確認される。	
		縄文時代	土坑4基、ピット48基		石鏃・石斧等 縄文土器			
		弥生～古墳時代	住居跡4軒		弥生土器、土師器			
		古墳時代	住居跡13軒		土師器等			
		古墳～平安時代	溝1条、ピット10基		須恵器			
		時期不明	掘立柱建物跡3棟、土坑10基、ピット619基		なし			
要約	東に越戸川を臨む台地縁辺部に位置する稲荷山・郷戸遺跡の報告書である。第5・6・10・11地点の成果をまとめたものである。これまでの成果で遺跡の主体は弥生時代末～古墳時代の環濠集落の展開が明らかになっており、今回の第11地点の調査においても住居跡17軒が確認されることとなった。第5・6地点では、1棟、第11地点では3棟の平安時代の掘立柱建物跡が確認される。掘立柱建物跡は側柱建物を主体とし、柱穴の規模等、直線に走る溝と方位を揃えて建てられている事から官衙的様相を窺うことができる。朝霞市における平安時代の様子を知る大きな成果であるとともに、古代新羅郡のあり方を考える上で新たな知見を得ることとなった。							